

## ロシア音楽界の皇帝 武蔵野初登場!

武蔵野市民文化会館リニューアル記念公演

ワレリー・ゲルギエフ指揮

## マリインスキー歌劇場管弦楽団

《マリインスキー歌劇場の総裁を務める超人ゲルギエフを、  
「もう二度と無い破格値」で!》



- 指揮** ワレリー・ゲルギエフ  
**プログラム** プロコフィエフ：交響曲第6番  
 ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲  
 ムソルグスキー：展覧会の絵

12月5日(火) 午後7時開演

一般 S席 15000円 A席 完売  
 友の会 S席 12500円 A席 完売

## 武蔵野市友好と平和の第九

武蔵野市市制施行70周年記念 武蔵野市・ブラショフ市 友好交流25周年記念コンサート

## ルーマニア・ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団

《25年ぶりの再来日。総勢260人が第九を高らかに歌い上げる!》

**出演** ルーマニア・ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団

曾我大介(指揮)  
 清水理恵(ソプラノ) 高野百合絵(アルト)  
 芹澤佳通(テノール) 吉川健一(バリトン)

武蔵野市・ブラショフ市友好交流  
 25周年記念コンサート第九合唱団  
 (合唱指揮：小津準策、小島聖史)



- プログラム** 曾我大介：ルーマニア民族舞曲  
 (武蔵野市・ブラショフ市友好25周年に寄せて) **日本初演**  
 ポルムベスク：喜歌劇『クライ・ノウ(新しい月)』より  
 冒頭と終幕の合唱、ホーラ、娘たちと兵士の合唱 **日本初演**  
 ベートーベン：交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付き」

主催：武蔵野市  
 公益財団法人 武蔵野市国際交流協会  
 共催：ルーマニア・ブラショフ市  
 協力：ルーマニア大使館  
 公益財団法人 武蔵野文化事業団

11月23日(木・祝) 午後2時開演

一般 3500円  
 武蔵野市民・友の会 3000円

会場  
 (全公演共通)

武蔵野市民文化会館 大ホール (中町3-9-11)

\*電話・窓口予約の場合、アルテ友の会に同時入会可能です(年会費1000円) \*全て全席指定  
 \*事情により出演者、曲目は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください

### 公益財団法人 武蔵野文化事業団

●チケットのお申し込み

☎0422-54-2011

または、インターネットで

●チケット取り扱い窓口

- 武蔵野市民文化会館
- 武蔵野スイングホール
- 武蔵境市政センター
- 武蔵野芸能劇場
- 吉祥寺シアター
- 中央市政センター
- 武蔵野公会堂
- 吉祥寺市政センター

ホームページ <http://www.musashino-culture.or.jp>  
 ツイッター [https://twitter.com/musashino\\_bunka](https://twitter.com/musashino_bunka)  
 フェイスブック <https://www.facebook.com/MusashinoCulture>

# コンサベーション\_\_ピース ここからむこうへ partA 青野文昭展

■会期＝

9月9日(土)～

10月15日(日)

休館日＝9月27日(水)



なおよす・代用・合体・連置 (東京・井の頭自然文化園で使われていた自転車の復元から) 2016 | 2016年

主催：武蔵野市立吉祥寺美術館

助成：公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

公益財団法人朝日新聞文化財団

公益財団法人花王芸術・科学財団

青野文昭(1968年仙台生まれ、同地在住)は、宮城教育大学大学院在学中の1990年より「修復」をテーマに掲げ、以後今日に至るまで、空き地や海岸などに打ち捨てられ、傷つき、壊れたものの断片を拾い、その欠損部分を知識と想像力によって「なおよす」というスタイルで制作・発表を続けている。自身も被災者となった2011年3月の東日本大震災後は、津波により破壊された被災物を用いた作品制作にも集中的に取り組んできた。青野は、「復元」という行為の不確実性／不完全性を認めた上で、その復元作業によって顕在化するズレやすり合わせといったさまざまな異物間の関係性の中に、リアルな世界像を読み込もうとする。

欠落した部分の断面を見つめながら他者の記憶と向き合い、そこに自身の記憶や想像に基づく新しいかたちを与え、接地面の齟齬をならしていく作業。そこでは、他者／過去の記憶を自身の中に取り込み、またそれによって自身が他者の記憶の中に潜っていくような記憶の交感が行われている。

本展に向け青野は、戦前、祖母が暮らしていたという自身にも縁ある土地・吉祥寺周辺地域での收拾活動に基づき、地域全体の記憶を「復元」という作業に挑戦した。展示会場では、数点の旧作により青野の今日までの制作活動を振り返るとともに、約1年をかけて進められた東京一吉祥寺における新たな取り組みの成果として、大作が発表される。



なおよす・代用・合体・連置 (震災後巨理町荒浜で收拾したトーマスのコップの復元・回向するかたち) 2016 | 2016年



## 武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 コピス吉祥寺A館7階 ☎0422-22-0385

ホームページ [http://www.musashino-culture.or.jp/a\\_museum/](http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/)

ツイッター [https://twitter.com/kichi\\_museum](https://twitter.com/kichi_museum)

フェイスブック <https://www.facebook.com/KichijojiMuseum>

開館時間：午前10時～午後7時30分

休館日：毎月最終水曜日

年末年始、展示替えおよび特別整理期間

入館料：●企画展 一般300円 中高生100円 (小学生以下・65歳以上・

●常設展(記念室) 一律100円 障がい者の方は無料)

交通案内：JR、京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 北口より徒歩3分